

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公表番号】特表 2006-527138 (P2006-527138A)
 【公表日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-047
 【出願番号】特願 2006-508359 (P2006-508359)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

A 4 5 D 34/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/00 J

A 4 5 D 34/02 5 1 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

小瓶容器 (1) に含まれる液体製品 (2) 用の塗布装置であり、前記装置は前記小瓶 (1) の開口部を閉じる蓋 (7) を具備し、該蓋には、前記液体製品 (2) が接触する湿潤面に向けて毛管移動するための少なくとも一つの導管 (5) が通っており、前記毛細導管 (5) の一方の端部は前記蓋 (7) の外部へ通じており、他方の端部は前記液体製品 (2) の採取用チューブ (6) に抜け出ており、該採取用チューブが、毛管現象によって重力に逆らって液体製品 (2) の所定の容量を保持するように製作されている塗布装置。

【請求項 2】

前記蓋 (7) が前記液体製品の少なくとも二つの毛管移動用の導管 (5) によって穿孔されており、該導管は、蓋 (7) を通って空気が流入する孔として交互に用いることができることを特徴とする、請求項 1 に記載の塗布装置。

【請求項 3】

前記蓋 (7) および前記採取用チューブ (6) が、小瓶に含まれた前記液体製品 (2) によって比較的湿らせやすい材料によって単一部品で製作され、一つまたは複数の毛管移動用の導管の直径が、前記採取用チューブの直径に対して小さなものであることを特徴とする、請求項 1 又は請求項 2 に記載の塗布装置。

【請求項 4】

取り外し可能な栓 (4) を具備し、該栓が一つまたは複数の前記毛管移動用の導管によって穿孔された蓋の面に押し当てられるようになっていることを特徴とする、請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか一つに記載の塗布装置。

【請求項 5】

前記栓 (4) の内面が、小瓶の一定時間の使用後に蓋 (7) に露出する液体のために、吸収性材料の層で覆われていることを特徴とする、請求項 4 に記載の塗布装置。